

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
令和元年度 第2回情報共有会合議事概要

1. 日時：令和元年7月22日(月) 15:00～16:30
2. 場所：札幌第1合同庁舎10階第2・3会議室
3. 出席者 30名
北海道開発局(7名)、北海道運輸局、第1管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面総監部(2名)、北海道(2名)、北海道立総合研究機構(3名)、札幌市、江別市、日本測量協会北海道支部(3名)、北海道産学官研究フォーラム、日本写真測量学会北海道支部、NPO法人Digital北海道研究会、スペーシャリストの会、NPO法人Envision環境保全事務所、酪農学園大学、国土地理院(3名)
4. 議事
 - (1) 海洋情報部保有の情報について
 - (2) BirdBaseリニューアルへの技術的アプローチ
 - (3) 話題提供
5. 配付資料
 - (1) 事務局
 - ・議事次第
 - (2) 発表資料
 - ・海洋情報部保有の情報について(第1管区海上保安本部)
 - ・BirdBaseリニューアルへの技術的アプローチ(北海道立総合研究機構)
 - (3) 話題提供
 - ・GIS・CIMハンズオン定期講習会のご案内(NPO法人Digital北海道研究会)
 - ・建設ICT・交通分野における海外視察報告セミナー(NPO法人Digital北海道研究会)
 - ・試験調査船による観測データが準リアルタイムで見られます。(北海道立総合研究機構)
 - ・7月11日付報道発表資料「北海道内で初めて『自然災害伝承碑』を地図で発信」(国土地理院北海道地方測量部)
6. 議事概要
今回の会合は、次の課題の発表を行った。
 - (1) 第1管区海上保安本部海洋情報部から海図の役割、法的位置付け、迅速更新、電子海図についての説明及び地理院地図を背景地図とした海洋状況表示システム「海しる」で公開している情報などの紹介を行った。
 - (2) 北海道立総合研究機構から機構内のGIS活用状況や昨年度末にリニューアルしたBirdBase(アジアの鳥類分布データベース)のWebGISシステムや収録されている鳥類のデータベースについて紹介があった。

発表後、システムで動いているエンジンや掲載している情報の扱いについての質問があった。

7. 話題提供・その他

- ・NPO 法人 Digital 北海道研究会から 7 月～12 月に開催する「GIS・CIM ハンズオン定期講習会」、7 月 29 日に開催する「建設 ICT・交通分野における海外視察報告セミナー」について紹介された。

- ・北海道立総合研究機構から試験調査船を使った定点観測データサイトについて紹介された。

- ・国土地理院北海道地方測量部から地理院地図で自然災害伝承碑の公開を 6 月 19 日から開始したこと、北海道管内では初めて 7 月 12 日に奥尻町の北海道南西沖地震に関する自然災害伝承碑 4 基を掲載したことを紹介した。

7 月 19 日から「測量法第 29 条の規定に基づく承認取扱要領の一部改正に関する意見募集について」パブリックコメントしていることを紹介した。

- ・第 3 回情報共有会合は 9 月下旬～10 月上旬に開催予定。